

もとす教道研会報 第25号 平成29年7月14日

発行所:岐阜もとすモラロジー事務所
Tel/Fax 058-324-7756

総会・講演会を開きました!

平成29年6月25日(日)午前10時、北方町立北方西小学校のひまわり教室において、もとす教育者道徳研究会総会並びに講演会を開くことができました。平成29年度の実質的な活動のスタートです。

当日は、18名の方がご参加くださいました。ご多用中にも拘らず参加していただきました皆様、誠に有難うございました。

総会の進行を上水流副会長、挨拶と役員紹介を森山会長、昨年度の会務報告等を吉田書記、監査報告を神原監査、今年度の活動案を吉田書記、予算案を渡部会計が行い、それぞれ承認されました。最後は、神谷副会長の挨拶で無事に総会が終了しました。

森山会長の挨拶要旨「この会は、旧本巣郡2市1町にお住まいかお勤めの方でつくる(生き方を考える)会です。各市町の教育委員会はじめ校長会、もとす事務所など多くの関係者に支えられ今日を迎えました。今年9年目を迎えることができたことに感謝しながら、学校(園)の子どもたちが、先生方が、明るく元気に生きられるよう陰ながら応援して参りたいと思います。『教科道徳』の実施も目の前に迫ってきました。皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます」



左から 上水流副会長、吉田書記、神原監査、渡部会計、神谷副会長

平成29年度 もとす教育者道徳研究会役員・理事

顧問	林 明夫	北方町教育委員
会長	森山 政紀	岐阜県モラロジー協議会事務局長
副会長	上水流弘美	瑞穂市立本田小学校教頭
	大野 琴美	本巣市立外山小学校教頭
	安藤 理加	北方町立北方小学校教頭
	神谷 肇	岐阜もとすモラロジー事務所事務局長
書記	吉田 光宏	北方町立北方西小学校教諭
会計	渡部 純一	北方町立北方小学校教諭
監査	大塚 康正	北方町立北方南小学校教諭
	神原 重典	岐阜もとすモラロジー事務所顧問
理事	堀 幸子	瑞穂市立本田小学校長
	長谷川昇児	北方町北方西小学校校長
	森 健治	岐阜もとすモラロジー事務所教育者担当

※今年度、理事枠の本巣市道徳部会顧問は空席

平成29年度 今後の主な活動計画

7月28日(金) 第54回岐阜県教育者研究大会羽島会場

13:00 不二羽島文化センター

※申込連絡者の参加費(千円)を本会から負担します。

8月17日(木) 県道徳部会夏季ゼミ 各務原市立川島小学校

11月24日(金) 文科省人権教育公表会 瑞穂市立本田小学校

12月23日(土) 役員・理事会 17:00 北方西小学校

2月24日(土) 実践研究会 10:30 北方西小学校

※市町を代表して道徳教育の実践を発表して下さる方を募集します。自薦・他薦大歓迎

講演：あなたの魔力はあなたの中に

講演者：林 明夫 (Hayashi Akio) 氏
(元公立学校校長、前北方町教育委員長)

教師として生きることの夢や希望など、ご自身の貴重な体験を交えながら、丁寧にそして熱く語りかけていただきました。

教師に抱いた憧れ《魔力①》

今も忘れずにいる先生がおります。

1人目は、やんちゃな小学生だった私がライギョ捕りに夢中になり授業に遅れて行ったのを叱らなかった先生です。叱られると覚悟している私に、あれこれ質問して一緒に喜んでくださいました。その先生が押しにくださる判子が欲しくて学ぶことの喜びを知りました。2人目は、緊張する教育委員会訪問でも普段と変わることなく、生徒を尊重する授業をされた英語の先生です。その公平無私な姿に憧れました。人を変える人間の素晴らしさを感じたのでした。

Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt.

これは、ベートーヴェン交響曲第9番・合唱付きに歌われるシラーの『自由の詩』の一節です。原題の意はフランス革命時の自由を讃えるものですが、私は「あなたの魔力は偉大で自分の中にある」と解しています。魔力とは自己有用感・自己

熱心に聴き入る

参加者の皆様



講演中の林 明夫氏



肯定感が生み出した「自信」です。各自がこれまでの経験・学びから得たものといえます。どんなに厳しい状況でも挫けることのない不屈の闘志を生みます。吉田松陰は『講孟余話』で「人々 貴き物の 己に存在するを 認めんことを要す」と説き、その発掘を求めています。

私自身を創った体験（叱責・ほめ言葉）と原風景《魔力②》

教職をめざしていなかった私が、学校に勤めるようになったのは、生活のためでした。教員免許をろくに持たない若造には、容赦のない厳しい叱責も日常茶飯事です。そんな苦境を乗り越えられたのは、大学時代のボート部体験でした。希望を掲げ仲間と最大限の努力を尽くして鍛え合った体験が心の支えとなったのです。その原風景がこの写真の橋梁と川です。今も立ち寄ると、奮起する気力や慰めを得ます。そして、教師としてヒントを得たのは当時のコーチの言葉かけでした。「君のピッチが他を高めているね」「君のキャッチが他を高めてるよ」そこには、必ず本人を主体とするほめ言葉がありました。

子どもの自信を育むような教師になろう！《魔力をあなたに》

教師の経験を積んだある日、同僚からほめ言葉をいただきました。「先生の学級は、担任の先生がいなくても、しっかりやってるね」

- ① 必要で適切な目標を子どもに与え、取り組ませる。
- ② 努力の過程では時間的な計画（見通し）を示し、できるようになるまで教え励ます。
- ③ 多様な価値のある生き方（日本の偉人・紹介と読書）に触れさせ子どもの今の時代が価値あることを伝える。
- ④ 努力していることを「変容」という視点で紹介し、自覚させる。
- ⑤ 「やってみます」という子どもをほめ、増やす。

講演会の進行を大野副会長、講演者紹介を安藤副会長、お礼の言葉を森山会長が行いました。

終了後、林講師のご厚意で美味しい昼食をいただきました。【構成・森山】

